



News Release

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2024 年 5 月 30 日

株式会社 GSユアサ

大阪ガスと新型パワーコンディショナ併設型蓄電池設備の共同実証契約を締結

株式会社 GSユアサ（社長：村尾 修、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）は、本日、大阪ガス株式会社（社長：藤原 正隆、本社：大阪市中央区。以下、大阪ガス）との間で蓄電池設備の共同実証運用の契約を締結しました。本実証には、GSユアサが現在開発中の新型パワーコンディショナを併設した蓄電池設備が採用され、2025 年 4 月から運用開始を予定しています。

本実証では、複数の電力市場（卸電力市場、容量市場、需給調整市場）に対応したマルチユース運用の検証ならびに蓄電池の特性に合わせた最適運用制御パターンおよび蓄電池設備の検証を行います。

両社は、本実証で得られる知見を基に、蓄電池設備を活用した電力の安定化とカーボンニュートラル社会実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【共同実証の概要】

項目	概要
設置場所	大阪市此花区 大阪ガス西島地区
実証運用期間	2025 年 4 月～2028 年 3 月（予定）
機器	パワーコンディショナ：500kW リチウムイオン電池：840kWh（共に GSユアサ製）
検証内容	・複数の電力市場に対応したマルチユース運用の検証 ・蓄電池の特性に合わせた最適運用制御パターンおよび蓄電池設備の動作検証
役割分担	【大阪ガス】 ・蓄電池設備の運用に必要な設備の構築と敷地の提供 ・電力市場での取引を模擬した、蓄電池設備の運用管理

【GS ユアサ】

- ・蓄電池設備の提供および運転・保守管理（O&M）対応の実施
- ・データに基づく機器の改造・改善の実施および検討

【新型パワーコンディショナ併設型蓄電池設備の特長】

1. 設置場所の自由度が高い

蓄電池盤単位での運搬・搬入、据付作業が可能なため、特殊車両や大型クレーンを使用しての設置が不要。

昨今主流となっている大型コンテナ式蓄電池設備と比較して、設置時の輸送経路を含めた設置場所選定の自由度が格段に高くなり、狭小地への設置も可能。

2. 設備設計の自由度が高い

必要な蓄電池容量に応じて、蓄電池盤の数量を増減させることで柔軟な設計対応が可能。



株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

News Release

2024 年 6 月 19 日

株式会社 GSユアサ

**株式会社ニジオ 角子原パワーストレージステーション向け
約 50MWh の大型系統用リチウムイオン蓄電池設備を受注
～再生可能エネルギーの活用および電力系統の安定に貢献～**

株式会社 GSユアサ（社長：村尾 修、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）は千代田化工建設株式会社（社長：太田 光治、本社：横浜市西区）より角子原（つのこばる）パワーストレージステーション向けに約 50MWh の系統用リチウムイオン蓄電池設備（以下、本設備）を受注しました。

角子原パワーストレージステーションは、株式会社ニジオ（代表取締役：堀坂 研太郎、本社：東京都港区、東京ガス株式会社 100%子会社）が一般社団法人環境共創イニシアチブの公募する「令和 5 年度系統用蓄電池等導入・配電網合理化等再生可能エネルギー導入加速化事業費補助金（系統用蓄電池等導入支援事業）」の助成を受けて建設するものです。

本設備には、GSユアサ製の産業用リチウムイオン電池「LEPS-2-14」を搭載します。今回、GSユアサ製品の品質や安全対策、迅速なアフターサービス体制が評価され、採用が決定しました。

近年導入が進む再生可能エネルギーは、天候や時間帯により発電量が変動することから、電力系統の需給バランスが不安定になること、電力需要が少ないときに発電出力を制御せざるを得ないことが課題です。本設備は、連系している電力系統へ充放電を行い、需給バランスを調整することで電力系統を安定させ、再生可能エネルギーの活用に貢献します。

今後もGSユアサは、リチウムイオン蓄電池設備の拡販を通じて電力の安定化に寄与してまいります。また、系統の調整力を担うことで、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に貢献します。

【リチウムイオン蓄電池設備の特長】

1. 全セルの電圧監視、全モジュールの温度管理機能を搭載し、高い安全性を確保
2. ファンレスモジュール構造により故障率低減、交換部品点数の大幅な削減を実現
3. 法令に合致した火災予防条例適合キュービクルを採用
4. 塩害、寒冷地にも対応可能なコンテナシステム

【GSユアサのサービス対応】

常時全セルの電圧監視や故障監視を行い、システム全体の信頼性を担保します。万が一の故障発生時は、全国を網羅する業界最大級のサービスネットワークを活用し、お客様のご要請に対応します。

【リチウムイオン蓄電池設備概要】

納入先	角子原（つのこばる）パワーストレージステーション
設置場所	大分県大分市角子原
着工時期	2024 年 5 月
稼働時期（予定）	2026 年度
電池の種類	リチウムイオン電池 LEPS-2-14
出力（MW）	25
容量(MWh)	50

角子原パワーストレージステーション完成イメージ
（敷地内に並んでいる白いコンテナが蓄電池設備）



※作成：千代田化工建設株式会社（Google Map および国土地理院の地図データを使用）

【参考】

[東京ガス株式会社 系統用蓄電池事業への本格参入について（2024 年 4 月 24 日）](#)

[千代田化工建設株式会社 株式会社ニジオ向け大型蓄電池設備設置工事の受注について（2024 年 5 月 9 日）](#)



News Release

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2024 年 6 月 26 日

株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー

**GS ユアサが開発した電池が
H3 ロケット 3 号機と先進レーダ衛星「だいち 4 号」に搭載**

GS ユアサグループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー（社長：並河 芳昭、本社：京都府福知山市。以下、GYT）が開発・製造した電池が、三菱重工業株式会社（社長：泉澤 清次、本社：東京都千代田区。以下、MHI）殿と国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（理事長：山川 宏、本社：東京都調布市。以下、JAXA）殿により開発されたH3ロケット3号機と、同ロケットに搭載される先進レーダ衛星「だいち4号」（ALOS-4）^{※1}に採用されました。同ロケットは種子島宇宙センターから6月30日に打ち上げられる予定です。

H3ロケットは、我が国が宇宙への輸送手段を持続けるために、基幹ロケットH-IIA/H-IIBロケットの後継機として、開発が進められてきた次世代の大型ロケットです。GYTはこれまで同様、H3ロケット向けに2種類のリチウムイオン電池と熱電池^{※2}をMHIへ納入しました。納入したリチウムイオン電池は同ロケットの計測機器などに、同じく熱電池は姿勢制御系機器などに電力を供給します。

また、H3ロケット3号機に搭載され、災害状況の把握や森林観測、海洋監視などに貢献する「だいち4号」にもGYT製の宇宙用リチウムイオン電池^{※3}が採用されており、人工衛星が地球の陰に入ってから太陽光による発電ができない期間に、電力を供給します。

GYT は 1970 年代の日本の宇宙開発草創期より宇宙用電池を開発・供給しており、以降、現在まで酸化銀亜鉛電池、熱電池、リチウムイオン電池などの当社製品が日本の固体燃料ロケット・液体燃料ロケット、国内外の人工衛星に搭載されるなど、宇宙開発事業に寄与してきました。

今後も最高水準の性能・品質を持つ製品を、社会インフラ構築に重要な役割を果たす人工衛星と、人工衛星を輸送するロケットに搭載することにより、社会の発展に貢献してまいります。

※1 JAXA ウェブサイトを参照ください。 https://www.jaxa.jp/projects/sat/alos4/index_j.html

※2 固体の電解質、導火剤・火薬を内蔵しており、電気信号を受けて発火し、内部が高温になって電解質が溶けることで、瞬時に大きな電力を発する一次電池です。

※3 JAXA から委託を受けて開発し JAXA コンポーネント（JAXA 研究開発部門が人工衛星に共通に使用される搭載コンポーネントやデバイスを開発し、JAXA データベースに登録・開示する制度）に登録されている高性能宇宙用リチウムイオン電池です。「だいち4号」の製造元である三菱電機株式会社（執行役社長：漆間 啓、本社：東京都千代田区）殿に採用いただきました。詳しくは JAXA ウェブサイトを参照ください。

<https://www.kenkai.jaxa.jp/library/database/db-compindex.html>

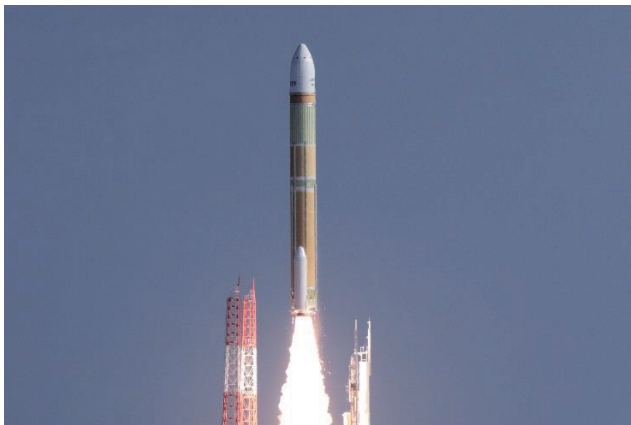
【先進レーダ衛星「だいち 4 号」に搭載されたリチウムイオン電池(セル)の仕様】

部品番号	JMG190
公称電圧 (V)	3.7
定格容量 (Ah)	190
寸法 (mm) ※4	W165×D50×H271
質量 (g)	4,590

※4 寸法 H は端子まで (スタッドボルト部除く)

【写真】

1. H3 ロケット (提供: JAXA)

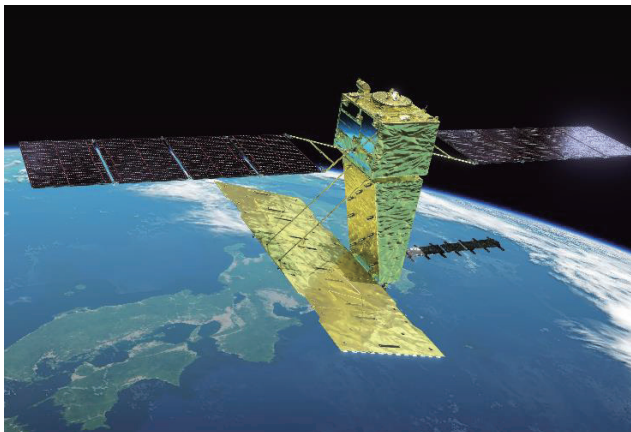


※写真は試験機 2 号機

2. H3 ロケット専用リチウムイオン電池



3. 先進レーダ衛星「だいち 4 号」(提供: JAXA)



4. 宇宙用リチウムイオン電池 (セル)





News Release

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>2024 年 8 月 28 日
株式会社 GSユアサ

環境省 脱炭素先行地域 さいたま市発の公民学によるグリーン共創モデル
カインズ浦和美園店向け、
約 300kWh のリチウムイオン蓄電池設備を納入
～再生可能エネルギーの活用および需要家の安定稼働に貢献～

株式会社 GSユアサ（社長：阿部 貴志、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）は株式会社カインズ（代表取締役社長 CEO：高家 正行、本部：埼玉県本庄市）が運営する店舗、「カインズ浦和美園店」に設置するリチウムイオン蓄電池設備（以下、本設備）を納入しました。本設備は 2024 年 3 月から稼働しており、これは環境省が公募する「脱炭素先行地域（提案者：埼玉県さいたま市、埼玉大学、芝浦工業大学、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社）」の助成を受けて導入されたものです。

本設備の蓄電池容量は約 300kWh で、平常時には太陽光発電の余剰電力をリチウムイオン電池に充電することで、天候によって変動する太陽光発電を有効活用する役割を担います。非常時には重要な負荷設備へ蓄電池から給電する事が可能なため、BCP 対策としても有用です。

また本設備は、GSユアサ製の産業用リチウムイオン電池「LEPS-2-14」を搭載しています。さらに、リチウムイオン電池全セルの電圧監視や故障監視を行っており、高い安全性を確保しています。今回、このようなGSユアサ製品の品質や安全対策、迅速なアフターサービス体制が評価されたことが納入に繋がりました。

今後もGSユアサは、リチウムイオン蓄電池設備の拡販を通じて、系統の安定化と需要家の事業所の安定稼働に寄与します。また、2050 年のカーボンニュートラル社会実現に向けて、再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に不可欠な調整力の確保を担います。

【リチウムイオン蓄電池設備の特長】

1. 全セルの電圧監視、全モジュールの温度管理機能を搭載し、高い安全性を確保
2. ファンレスモジュール構造により故障率低減、交換部品点数の大幅な削減を実現
3. 法令に合致した火災予防条例適合キュービクルを採用
4. 塩害、寒冷地にも対応可能なコンテナシステム

【GS ユアサのサービス対応】

常時全セルの電圧監視や故障監視を行い、システム全体の信頼性を担保します。万が一の故障発生時は、業界最大級の全国を網羅するサービスネットワークを活用し、お客様のご要請に対応します。

【リチウムイオン蓄電池設備概要】

納入先	カインズ浦和美園店
所在地	埼玉県さいたま市緑区美園
運転開始時期	2024 年 3 月
電池の種類	リチウムイオン電池 LEPS-2-14
蓄電池容量	約 300kWh

納入したリチウムイオン蓄電池設備



【参考】

[さいたま市脱炭素先行地域における地域共生型モデル店舗が始動～カインズ浦和美園店に蓄電池導入：自家発電・蓄電で地域脱炭素に貢献～](#) （2024 年 4 月 12 日）



News Release

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2024 年 9 月 19 日

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー

**自家用乗用車用 高性能バッテリー
「ECO.R EC」シリーズをリニューアル発売**

株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー（社長：酒見 升久、本社：東京都港区。以下、GYB）は自家用乗用車に対応する高性能バッテリーの「ECO.R HIGH CLASS（エコ.アール ハイクラス）」と「ECO.R STANDARD（エコ.アール スタンダード）」を統合し、「ECO.REC（エコ.アール イー・シー）」シリーズ（以下、本シリーズ）として 2024 年 10 月にリニューアル発売します。

本シリーズの前身である「ECO.R」は、自動車用バッテリー業界の先陣を切って 2001 年に環境配慮型バッテリーとしてリサイクル素材を積極的に採用し、また 2007 年にはいち早く充電制御車に対応したバッテリーとして発売されてきました。

このたびのリニューアルでは、パッケージデザインの意匠を ECO.R シリーズとして統一します。GS ユアサの自動車用バッテリー製品の中核となる、ECO.R シリーズのブランドイメージ向上を目指します。

GYB はこれからも、時代によって移り変わる自動車用バッテリーへのご期待・ご要望に、高い技術力で応え、安心・安全なカーライフに貢献してまいります。

【ECO.R EC シリーズの特長】

従来からの特長を継承し、グリーン調達、環境に配慮した工場で製造されている製品として、長きにわたりがご愛顧いただける製品です。

1. クイックチャージ性能 130%※1

短時間で素早い充電が可能。充電制御車対応、チョイ乗り使用でも安心です。

2. 耐サルフェーション性能 200%※2

バッテリー劣化の一因であるサルフェーション現象※3を抑制します。

3. 高温耐久性能 130%※2

高温環境での使用によるバッテリー劣化を抑制します。

4. 環境に配慮した設計

蓋、電槽に再生樹脂を使用しています。

5. セミフラット液栓の採用

セミフラット形状の液口栓を採用し、雨水等が電池天面から侵入しにくい設計としました。

1～4 は従来から継続、5 は今回のリニューアルで追加した特長

※1 当社標準品 40B19 タイプと EC-40B19 タイプとの比較。GSユアサの独自試験。実走行ではありません。

※2 従来品 ECT-60B24 タイプと EC-70B24 タイプとの比較。GSユアサの独自試験。実走行ではありません。

※3 放電生成物である硫酸鉛が結晶化することで充電反応ができなくなり、電気を取り出しにくくなる現象。

チョイ乗り使用で充電不足状態が続いたり、車両の使用頻度が少なく長時間放電された状態が続いたりすると発生しやすくなります。

【製品補償期間】

36 ヶ月または 6 万 km（ご購入後、どちらか早く到達するまで）

【発売年月】

2024年10月

【メーカー希望小売価格】

オープン価格

【型式一覧】

型式名	
EC-40B19R(L)	EC-60D23R(L)
EC-50B19R(L)	EC-90D23R(L)
EC-60B19R(L)	EC-90D26R(L)
EC-50B24R(L)	EC-105D31R(L)
EC-70B24R(L)	EC-125D31R(L)

■ 「ECO.R EC」シリーズ



■ 「ECO.R」シリーズ ロゴ





株式会社 GSユアサ

News Release

お問い合わせは コーポレートコミュニケーション部

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2024 年 10 月 10 日

株式会社 GSユアサ

令和 6 年度産業標準化事業表彰 産業技術環境局長表彰を受賞

株式会社 GSユアサ（社長：阿部 貴志、本社：京都市南区。以下、GSユアサ）産業電池電源事業部 事業企画本部 事業戦略部 井上 剛文が、経済産業省主催の「令和 6 年度産業標準化事業表彰」において、「産業技術環境局長表彰」を受賞しました。

産業標準化事業表彰は、国際規格や日本産業規格（JIS）等の作成、普及・促進、標準化を活用した市場創出や社会課題の解決等に功績のあった個人および組織、ならびにこれらの活動において今後のさらなる活躍が期待される個人に対して経済産業省が表彰する制度です。

当社の受賞者は、日本に高い優位性のある鉄道車両駆動用電池の国際規格化推進のため、2013年から国際会議における議論に参加し、IEC TC 9（鉄道用電気設備とシステム）/PT 62928（駆動用リチウムイオン電池）の国際主査として日本主導で議論を進め、2017年にIEC 62928「鉄道車両駆動用リチウムイオン電池の性能・安全規格」の発行に貢献しました。

また、2019年にはIEC/TC 9/PT 62973-5（補助回路用バッテリー 第 5 部 リチウムイオンバッテリー）のプロジェクトリーダーに着任し、IEC 62973-5「補助回路用バッテリー 第 5 部：リチウムイオンバッテリー」を2023年に発行するなど、日本製品の海外市場進出に寄与したことが評価され、今回の受賞に至りました。

【受賞の概要】

1. 受賞者

井上 剛文

(株式会社 GS ユアサ 産業電池電源事業部 事業企画本部 事業戦略部)

2. 主な功績

- (1) IEC/TC 9/PT 62928 鉄道車両駆動用リチウムイオン電池の性能・安全規格 (IEC 62928) および、IEC/TC 9/PT 62973-5 鉄道車両補助回路用リチウムイオン電池の性能・安全規格 (IEC 62973-5) の制定
日本のリチウムイオン電池およびそのシステム構成や使用実績などを考慮した上で、国際主査として各国の意見を取りまとめ、それぞれ 2017 年、2023 年に発行した。
- (2) IEC/TC 21/SC 21A WG5 IEC 62619/IEC 62620 (産業用全般リチウムイオン電池の安全/性能規格) の制定
蓄電システム用や移動体用など産業各分野で需要が増加しているリチウムイオン電池の規格であり様々な用途に共通する要求を記載したアンブレラ規格の位置づけ。2010 年 5 月より国際主査として規格制定を進め、2014 年に IEC 62620 (性能) を発行、IEC 62619 (安全) は 2017 年に Edition1 を、2022 年には Edition2 を発行した。
- (3) JIS C 8715-2、JIS C 8715-1 (産業用全般リチウムイオン電池の安全/性能規格) の制定
上記 IEC 62619 および IEC 62620 の JIS 規格版。この制定において原案作成委員として参画。
- (4) IEC/TC 21/JWG 69 Li IEC 62660-3 (車載用リチウムイオン電池の安全規格) の制定
電気自動車(EV)やハイブリッド車(HEV)、プラグインハイブリッド車などの駆動および駆動アシストに用いられるリチウムイオン電池の安全規格。日本のエキスパート委員として参加し、日本意見の多くを反映した。2016 年に Edition1 を発行、2022 年には Edition2 を発行した。